

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念 和(やすらぎ) 楽(楽しみ) 幸(しあわせ) 志(こころざす)	○ 楽しく幸せであると感じてもらえるよう外部との交流をふくめ外出、散歩等の支援をしている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を目に付く所に掲げ申し送り時唱和している	○ 理念の大切さについて職員は研修に参加し、施設内研修も行っている
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	インターネットの配信や新聞の配信、運営推進会議を行うなかで理念の浸透に取り組んでいる	○ 推進会議をもっと深い話し合いの出来る場にしていきたい
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時の挨拶や近所のお菓子屋、パーマ屋を利用しなごみの関係を作っている	○ 現在より幅広くしてゆきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入っていないが自治会などの行事に積極的に参加している	○ 季節により外出しにくい時があり、その点を改善していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症の相談にのっている	○	地域にむけて認知症についての講習会を開きたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かし改善に取り組んでいる	○	改善に取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	会議はまだ始まったばかりだがサービスの向上にむけて話し合うようにしている	○	サービスの向上に活かして行きたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者とは、会議以外でも交流している	○	市町村との交流を増やしサービスの向上につなげたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な研修に参加し話し合う場を設けている	○	グループホームでは、あまり身近に感じられない面もあるので職員全体に理解してもらいたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	必要な研修に参加し話し合う場を設けている	○	グループホームでは、あまり身近に感じられない面もあるので職員全体に理解してもらいたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	後日も気になるところや疑問がないか確認するようにしている
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	入居者に苦情係りは誰なのか明確にするようにしていきたい
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	特に目立った変化の無い入居者は最低の回数になってしまうので家族会やイベントに参加してもらえる声掛けをしていきたい
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	ホームでは意見を反映しているつもりだが家族が満足しているのか確認していく必要がある
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	職員の提案や意見は運営者に直接届きにくいですが管理者が仲立ちして取り組んでいる
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	常勤者を増やし全ての時間帯に対応できる様にしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	過去三年間、ほとんど移動や離職はなかった	○	この四月何人かの離職者が出たので入居者のダメージを防ぐことを一番に人材確保に力をいれた
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員は進んで研修を受けている	○	スキルアップを図るための努力をしている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互訪問等の活動でサービスの質の向上の取り組みをしている	○	地域の同業者やグループホームとの交流、意見交換をしている
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	クリスマス食事会、親睦会を開いている	○	スタッフの楽しめる場所を選んで食事会をしている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	向上心をもって働き続けることが出来るように、コーチングの講師を招いてグループワークなどの指導をもらった	○	講師を選んで、東京から招いた

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居にいたるまで個人面談を行っている	○ 体験入居にいたるまで個人面談を行っている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談の時、家族とも話す機会を作っている	○ 体験入居にいたるまで個人家族にも面談を行っている
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームなので、体験入居を勧めている	○ 体験入居中、家族にもかかわりを持ってもらい共に考えている
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居により工夫している	○ ご本人、家族と考える
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人の人として接し尊敬しつつくしんで接している	○ 本人の出来ることを活かし支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族がいつでも訪問し、何でも相談できるよう敷居を低くすることに勤めている	○	入居者とは別に、家族もご自身の喜びや哀しみを表現してもらえるようにしていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者がここで落ち着いておられることに喜びを感じてもらいあらたに家族の絆を深めてもらえるように支援している	○	外出や外食を共にしてもらったり、昔の趣味（芝居など）に同行してもらっている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの馴染みはもちろんのこと、外へ出てご近所にも新たに馴染みを作る支援をしている	○	パーマ屋、喫茶店にまずスタッフが出向きスタッフから馴染みになる努力をしている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者の性格や生活リズムを把握し気の合うもの同士の観察をしている	○	逆に気の合わないもの同士を放すのではなくスタッフが関わりながら孤立しないようにしている
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	年賀状などでその後をお聞きしている	○	契約が終了するとき円満であることを望んでいる。その後を連絡してくれている家族が多い

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりにゆっくり話しをする機会を捉え思いや意向をできるだけ聞き取るように努め意思表示困難な場合にも本人の発する言葉から思いを汲み取っていく	○	出来るだけ本人や家族と話し合う機会を多く持ち意向に添えるようにしてゆきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでどのようなサービスを受けどのような生活が維持できていたか馴染んできたことなど本人や家族から聞き取り入居後も違和感なく過ごせるように馴染みの家具等配置するなど環境整備に努めている	○	年を重ねるにつれて施設での生活も生活歴と加味されていくのでそれを踏まえた暮らしの把握をして行きたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	それぞれの生活パターン精神状態、残存能力を把握しその人らしい生活が出来るだけ長く維持できるよう個別の対応を心掛けている	○	認知症があっても、その人の持っている能力の可能性を見極め、積極的に活動に参加できるよう支援してゆきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が主体的に暮らせるために可能な限り本人の意向やニーズを引き出すことまた随時家族の意見希望を取り入れてケアプランに反映していく。必要があれば関係者と担当者会議を開き介護計画の見直しをしていく	○	一人の利用者チームで共に関わっていかなければ利用者本位のケアプランは出来ないということをつまみ関係者や家族との連絡をより密に行っていく。特に医療との連携は必要である
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月の見直しだけでなく日々の変化に伴って、話し合わなければならない時は、速やかに事に当たる	○	御本人、御家族スタッフ間のお話し合いを円滑に進められるよう働きかける

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の様子、支援の実践を時間的にとらえ記録にのこし、スタッフ全員が情報を共有することによってニーズや問題性を早めにキャッチする。それらがケアプランの見直しに活かされるように努めている	○	日々の個別記録にくあえてカンファレンスの方法を少し変えてより充実したものになりたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ターミナルに於ける家族ぐるみの支援等で柔軟な支援を心掛けているがひっ迫した要望はあまり生じていない	○	今までの取り組みを続ける
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	随時、地域の民生委員、ボランティア、消防署、文化教育施設と連絡を取り協力依頼している。特に音楽、絵画のボランティアの役割は大きい	○	地域の教育機関や地区公民館と随時連絡を取り合ってお互いの交流を深め、当ホームの存在を広めて行きたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	突発的に起こる入院時の付き添いや、結婚式出度の付き添い等、保険サービス以外のサービス利用等や、必要に応じて地域のサービス事業者と相談し支援している	○	今までの取り組みを続ける
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	開所後、特変なく経過しており現時点では、地域包括支援センターへの働きかけは特別行ってはいないが認識はある	○	今後、権利擁護や総合的な介護支援について地域包括と協働する機会があれば行って行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	二週間に一度健診のため往診してもらっている	○	今のところ家族に了解を取って一人のドクターが来ているが掛かりつけ医は本人に選んでもらっても良いと思う
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門ではないが医師とは密に係わるようにしている	○	認知症専門医を内科医に紹介してもらった
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護と24時間連携をはかり相談に乗っていただいている	○	定期訪問(看護)スタッフの疑問や相談に気軽応じてくれる
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携している	○	退院した後のケアについてスタッフも交わり全員で話し合っている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現段階では方針はあるものの早い段階で家人にお話ししても実感はないようだ	○	家人の中で終末期までグループホームでと考えておられるかどうか確認しておきたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	検討、準備はできている	○	実例がないので準備しておきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	十分話し合いダメージ防止に努めた	○	住み替え先と密に連絡をとっている
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーや尊厳について十分配慮している	○	スタッフ一人一人心掛けてもらっている
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	コミュニケーションを取りづらくなった重度の入居者にも十分説明し決定してもらっている	○	今後もコミュニケーションが一切取れなくなったとしても説明し決定してもらいたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースに合わせた支援をしている	○	職員の中には業務、優先してしまうケースもまれに見るので徹底したい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容については、本人の希で外出したり理美容師に訪問してもらっている	○	化粧療法を取り入れ関心を持ってもらっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	半調理した食材を利用しているので誰でも参加してもらえるように、盛り付け、片付けにお手伝いしてもらっている	○	毎日の食事は一からの手回くりではないのでおやつを手作りしている（参加型、たこ焼きや団子など）
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者によってお酒もタバコも楽しんでもらっている	○	制限したく無いので逆にアルコール性の認知症のかたを受け入れしてあげれない
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの把握、プライバシーをかんがえてのトイレ誘導を行っている	○	夜間は安眠のためリハビリパンツを使用しているが日中は下着にパットで支援している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	特に入浴の時間は定めずいつでも好きな時間に入らせていただいている	○	入浴を促さなければ入っていただけ無い入居者もいるので3日に一度は入っていただく支援をしている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人に合わせた急速を考えている	○	特に高齢の入居者には昼寝などの休息を心掛けている
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	イベントやレクリエーションの参加も個人レベルや好みで参加していただいている	○	無理強いを避けたいが認知度が進んでいる方はやる気もうせてくるので声掛けして参加していただいている


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームで個人で自由に使えるお金を預かっている。御本人がお金を所有しているケースもある	○	認知症であるがゆえ制限なく自由に買い物していただくには限界がある
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スタッフの同行はもちろん家族様の協力もあり支援できている	○	スタッフの人数により支援できない時もあるので出来る限り希望に沿って行きたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ミュージカルに行かれたケースもある	○	家族様に呼びかけ理解していただき色んな所へお連れしたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	申し出があれば電話、手紙を利用していただいている	○	遠慮して申し出られない場合もあるので関係作りしていきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	以前に比べ訪問いただける機会が増えた。スタッフの愛想が良いと言っていた	○	取り組みは特にしていないがスタッフの対応にきを付けている
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は原則○にしていく方向	○	やむを得ない場合は報告書を上げ家族に了解を取り、長期にわたる場合はカンファシ改善している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はかけないが日中玄関には、鍵を掛けている	○	施錠について、家族の理解を取り理解していただいている。推進会議でも話し合い地域の皆様にも理解してもらえた
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	リビング、廊下にカメラを設置している。入居者の安全を考えている	○	リスクマネジメント委員を置きインシデントの報告をきっちり上げ安全に力を入れている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	御自分の裁縫箱もっている入居者もいるので針の数等、スタッフは把握している	○	状態は変化するのでより深い観察に心掛けている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメント委員により指導を行っている	○	委員以外の人でも研修に参加してもらいより深い知識を得てもらっている
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	リスクマネジメント委員により指導を行っている	○	マニュアルを作成している。訓練はおいおいしていく
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練の実施	○	推進会議を通し地域のひとに協力を得られるようにしてゆきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族とのコミュニケーションはかかせない。リスクについていつも話し合い連絡も入れている	○	今後も連絡は密に入れて行きたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	観察した事を記録に上げ情報を共有し送り時話し合い、対策を練っている	○	馴れ合いにならないよう注意している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルしいつでも確認できるようになっている	○	今のところ、漠然と配薬しているスタッフもいるかしのれない。職員教育に力を入れたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来る限り薬に頼る事無く排便できるよう工夫をしている	○	便秘の及ぼす影響を考え常に看護師、ドクターと連携をとっている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	訪問歯科で口腔ケアの指導を受け実施している	○	指導のもと個人にあったケアをしている。義歯にはポリドントを使用している
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録をとり、状態により食介するなどの工夫をしている	○	食事時間の制限はしない(衛生面は考慮する)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の研修参加	○	手消毒、ホーム内の消毒、外部からの訪問も手消毒
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	決まった曜日に調理器具の除菌、冷蔵庫内掃除	○	研食、スタッフも食べて安全確認
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	閉鎖的なイメージをなくし塀を低くし花を植え明るくしている	○	花を絶やさないようにしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きな窓で光を取り入れ明るさはカーテンの開け閉め調節。居間や玄関に季節を考えた装飾をしている	○	取り込み症状の入居者もおられるので、考えた装飾をしている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所どころに椅子を置き、休んでもらえる空間を作っている	○	間仕切り等はリスクもあるので使用していないが椅子の向きでカバーしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や物を置いている	○	居室にやたらに穴を開けることができないので額 など（御自分の作品）掛けていただけないのが残 念です。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	24時間換気している。湿度計を置き配慮してい る	○	各部屋にも湿度計を置き管理している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	入居者にあわせ都度手すりを増やしている。（玄 関や廊下、ベットサイド立ち上がり棒）	○	レベルに合わせ介護用品をうまく利用していき たい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	恥をかかせないケアの実践	○	一人一人のわかる力の把握
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	季節のはなを植え、クリスマスイルミネーショ ンの電飾もつけた	○	入居者の意見を取り入れた工夫をしていき たい

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ハード面の充実はお金を掛ければ解決できます。しかしわたし達は人が人をケアするという仕事についています。入居者に学び、仲間に学び、家族様や周りの全ての人に学び成長できる素晴らしい環境にいます。スタッフが入居者との関わりを大切に思い、つねに優しい気持ちで笑顔でいる、そんなソフト面の充実に取り組んでいます。いつも笑い声の耐えないホームを目指しています。